

藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成30年度分）に対する事業評価会議結果について

開催日時：令和元年6月11日（火）午後2時～4時

開催場所：藤沢商工会議所 2階会議室

本所経営発達支援計画に基づき、記載の事業（平成30年4月1日～平成31年3月31日実績分）について、地域の状況を把握している外部有識者（5名）による、事業の検証会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、推進状況、成果、満足度等をA（大いに良好）・B（良好）・C（見直し）といったランク付けにより評価を数値化する。

A評価・・・事業の実施状況、内容、成果が80%以上の評価

B評価・・・事業の実施状況、内容、成果が50%～79%の評価

C評価・・・事業の実施状況、内容、成果が49%以下の評価

外部有識者（順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・神奈川県かながわ中小企業成長支援ステーション（中小企業支援課海老名駐在事務所）
- ・藤沢市経済部産業労働課
- ・日本政策金融公庫横浜支店 国民生活事業
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

事務局出席者 3名

専務理事

経営支援部長

経営支援部参事兼支援課長

経営発達支援計画に対する事業評価結果

次のとおり

藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成30年度実績分）に対する事業評価結果

1. 地域の経済動向・需要動向に関する情報提供

事業等	評価				
(1) 日商 LOBO 調査、景気ウォッチャー調査、雇用動向調査	A	B	B	B	B
(2) 経済動向調査の分析説明会	A	A	A	B	A
(3) 景気動向・需要動向等について調査及び分析、公表	A	B	B	A	A

講評等：概ね計画通りに実施されたものと思料。

未実施分（景気ウォッチャー、景気動向1～3月）は、次年度は実施の方向で取り組んでいるとのことですので、よろしいかと思料。

市内企業の動向を調査し、状況を把握し、フィードバックすることにより、事業者の事業計画の策定・推進の判断材料として必要不可欠なものとする。身近でタイムリーな情報提供を行うことは有効なものとする。

会報などで非常にわかりやすく情報発信しており、引き続き、内外への積極的な発信をお願いしたい。

一部対象企業で実施できないために達成率が低下している項目もあるが、全体としては十分な取組みを進めている。

2. 経営分析に関すること

事業等	評価				
(1) 経営分析	A	A	A	A	A
(2) 業種別情報交換会	A	A	A	B	A

講評等：計画を上回って実施されているものと思料。

経営分析実施件数が増しており、高く評価できます。

個別に専門相談員などが寄り添った相談を受ける体制が整っていることは、事業者が望んでいるところであり、伴走型の支援は有効である。

分析件数が大きく伸びている点は評価できます。引き続き、連携機関とも協力しながら、事業者の強みや弱みを適切に把握し、還元していただきたい。

着実に計画を推進しており、特に経営分析の件数が伸びており、個社支援の実績が大幅に高まっている。

3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価				
(1) 経営計画策定支援セミナー	C	C	B	C	C
(2) 個別専門家相談	A	A	A	A	A
(3) 事業計画策定支援	B	B	B	B	B
(4) 小規模事業者経営発達支援融資	C	C	C	B	C
(5) 経営革新支援	A	A	A	A	A
(6) 創業支援	A	A	B	A	B

講評等：数字としては未達の項目もあるが、新たな取組「キャッシュレス決済導入支援事業」等において、他にはない実績があり、概ね計画通りに実施されているものと思料。
 経営計画策定支援セミナーについては、受講者数ありきではないが、他のテーマやセミナーとの抱き合わせなど工夫が必要かと思われます。
 経営計画策定支援セミナーの受講者は少ないが、個別専門家相談や経営革新セミナーの受講者は伸びている。ニーズに応じて支援をしていく必要を感じる。
 周知等を効果的に行い、引き続き参加事業者数の増加をお願いしたい。よろず支援拠点との共催セミナーは非常に効果が見込めるので今後も続けていただきたい。
 個別専門家を積極的に活用して個社支援を進めている姿勢が伺える。小規模事業者持続化補助金申請にも積極的に取組んでいることで、事業計画策定支援の取組みが進んでいると思われる。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価				
	C	C	B	B	C
(1) 事業計画策定後の支援	C	C	B	B	C

講評等：状況変化等によるものであり、やむないものと思料。
 当初目標設定が高すぎたのかと思います。
 関係団体と連携した伴走型の支援により持続的発展経営につながっている。
 計画策定後の事例を数多くストックすることで、今後の計画策定支援に還元できるようになるので、多忙とは思いますが、対応を継続していただきたい。
 事業計画策定後のフォローアップの難しさが伺える。支援する側と支援される側のニーズを正確にすり合わせる事が難しいと思われる。

5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価				
	C	C	B	B	B
(1) 需要動向分析	C	C	B	B	B

講評等：状況変化等によるものであり、やむないものと思料。
 セミナー回数や受講者数の増加を図るためには、上記3同様、今後工夫される必要があるかと思います。
 事業者が望む情報を取得・分析し提供することは、事業者の客観性を持たせるためにも重要と考える。
 GISを効果的に活用することで、特に創業計画策定にあたっての大きな助けとなるので、セミナー等を活用しながら周知の取組みを継続していただきたい。
 需要動向調査の実施回数が2回にとどまっているために、セミナー参加者も目標に達していない。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

事業等	評価				
	A	A	A	A	A
(1) イベントによる需要の開拓と販路拡大	A	A	A	A	A
(2) 商工会議所等連携によるビジネス交流会	B	A	A	A	A
(3) 公的機関等との受発注促進	C	C	B	B	C

(4) ① I T活用による需要の開拓 (B t o Cの販路拡大)	C	C	C	C	C
② " (B t o Bの販路拡大)	B	B	B	B	B
③ " (商圏分析ツールによる需要開拓)	B	C	B	A	C
(5) 観光客をターゲットとした需要開拓	C	C	B	B	A
(6) 展示会等への出展支援	B	B	B	B	C
(7) 海外展開による支援	B	C	B	B	C

講評等：実績としては未達項目もあるが、総合的には質の向上が図られており、概ね計画通りに実施されたものと思料。

C評価部分は当初の目標設定が高すぎたためと思われます。今後、新しい計画の策定にあたっては目標設定については十分な検討が必要かと思料。

キャッシュレス決済導入支援事業により、多くの事業者のキャッシュレス化が進んでいる。引き続き取り組まれるということであり、2020年のオリパラ開催地として効果が高い取組である。

オリンピックを控え、I Tや外国人対応を中心に、引き続きイベントや交流会に力を入れ、藤沢を全国に発信できるよう、取組みをお願いしたい。

ビジネス交流会などの積極的な取組みが目立っている。今期の目標には掲げられていないが、キャッシュレスの取組みも素晴らしいものがある。

7. 地域経済の活性化に資する取組

事業等	評価				
(1) 藤沢宿遊行の盆	B	B	B	B	C
(2) ブランド料理等の新製品研究・開発	B	C	B	A	C
(3) 藤沢駅周辺の商店街と大型店が連携事業「LOVE 藤沢」	A	A	A	A	A

講評等：(1)は台風の影響ありやむないもの。(2)は新たな取組みが実施されている。総合的に概ね計画通り実施されたものと思料。

(2)のブランド料理等については、もう少し内容を広げる(藤沢の美味しいものを発掘するなど)等により、実効性のある事業にするなど、今後計画を策定する上で見直されるとよいかと思料。

地域の大型商業施設と商店街団体が連携した取組として定着している「LOVE 藤沢」は、藤沢特有のものとして評価できる。

地域資源を活用した取組みを積極的に行っており、今後も継続をお願いしたい。

遊行の盆が台風で思ったように集客できなかったことは誠に残念であるが、継続的な取組み成果は着実に高まっていると思われる。

8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業等	評価				
(1) 経営革新セミナー・創業セミナーの関係機関との連携・取組	A	A	A	B	A
(2) 企業情報交換会事業の取組	A	A	A	B	A
(3) 厚木基地とのビジネスマッチング事業の取組	A	A	B	B	A
(4) 県下商工会議所との情報交換についての取組	A	A	A	B	A
(5) 日本政策金融公庫等の支援機関との情報交換についての取組	A	A	A	A	A

講評等：計画通り実施されたものと思料。
事業者の声を聴く機会や情報提供に努めており、事業者の事業実施に役立っている。
連携機関との協力、情報交換を行いながら、引き続き経営発達支援事業を推進して
いただきたい。
広域での地域連携に積極的に取り組んでいる。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価				
	A	A	A	B	A
(1) 経営指導員の研修内容	A	A	A	B	A
(2) 専門家と経営指導員との支援体制	A	A	A	B	A
(3) 経営指導員の情報共有	A	A	A	B	A
(4) 商圈分析手法、経営計画書策定に関する研修	A	A	A	B	A
(5) 経営指導員の自己研鑽	A	A	A	B	A

講評等：計画通り実施されたものと思料。
指導員が客観的な視点で事業者と意見交換をするための様々な取組を継続することは
有益なものである。
多忙の中、研修会等に数多く参加されており、引き続き取組をお願いしたい。
各種の研修会にも積極的に参加している。

10. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評価				
A	B	A	A	A

講評等：総合的にみて計画通りに実施されたものとする。特に新たな取組における先進的で
スピードある対応は突出しているものと評価されるべきものとする。

概して良好と評価します。目標設定が高すぎる項目や新たな取組について評価できない
部分もあるので、今後計画を策定するにあたっては目標設定を十分にご検討ください。セ
ミナー等については集客力を高めるためのテーマの工夫や他のセミナーとの抱き合わせ
などの工夫が必要かと思われます。

様々な団体と連携し、効果的に計画を推進しており、高く評価できる。

取組により、達成率の上下は多少あるが、全体としてみれば、適切に推進していただ
いており、総合的にみて80%以上の評価は可能と思われる。引き続き、地域経済の中核
として、積極的な取組を期待します。

やむを得ない事情によって、一部達成度が低い項目はあるものの、全体としては、地域
活性化の取組みや、個社支援の取組みを積極的に進める姿勢が伺える。